別紙

欄に記入してください

温室効果ガス削減計画

1　事業の概要

（1）事業所の名称

大同エアプロダクツ・エレクトロニクス株式会社　広島ガスセンター

（2）事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地5679番地1

（3）業種

圧縮・液化ガス製造業

（4）事業所位置図

別紙のとおり

2　計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度の1年間とする。

3　計画の基本的な方向

環境方針

大同エアプロダクツ・エレクトロニクス株式会社は、エレクトロニクス産業向けのガスおよび特殊材料等の製造・販売・物流・メンテナンス等の一貫した事業活動において(関連製品の設計・開発を含む)、環境、健康および安全に関して業界リーダーをめざすと共に、地球環境に配慮した最適な製品づくりに努め、地球資源循環カンパニーの実現を目指します。

1.設計・開発、生産、販売、物流、メンテナンス等の事業活動全般において、省資源、省エネルギーに取り組みます。
2.環境関連の法律・規制並びに業界、顧客のガイドライン等を遵守すると共に、必要に応じて自主基準を制定して、廃棄物の継続的減量に努めます。
3.ゼロ災害、および毒性・危険物質のゼロ放出に向かって継続的な努力をします。
4.環境を守り、地域住民および従業員の健康、安全を守る方法でプラントおよび施設の設計と運転を行います。
5.我々は安全で環境にやさしい方法で、製造、配送、使用、回収または廃棄できる製品を提供できるように努力します。
6.事業所活動の環境影響を調査・検討・評価し、技術的かつ経済的に達成可能な目的・目標を設定・実施すると共に、定期的な見直しを行います。(環境マネジメントシステムの推進)
7.大同エアプロダクツ・エレクトロニクス株式会社は、エア・ウォーターグループ並びにエアープロダクツの一員として、両親会社と一体になって環境保全活動を推進します。

4　温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（$t\text{-}CO_2$）		
	平成２年度	基準年度	直近年度
		平成26年度	同左
二酸化炭素		21,141	同左

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（$t\text{-}CO_2$）		
	平成２年度	基準年度	直近年度
		平成　年度	平成　年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（$t\text{-}CO_2$）		
	平成２年度	基準年度	直近年度
		平成　年度	平成　年度
メタン			
一酸化二窒素			
ＨＦＣ ＰＦＣ ＳＦ6			

5　温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO_2），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度（平成　年度）	削減目標		目標年度（平成　年度）
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
フロン類				0
温室効果ガス実排出量総計				0
温室効果ガスみなし排出量		－		0
目標設定の考え方				

※　削減率(b)＝(c)/(a)×100　　削減量(c)=(a)-(d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：　エネルギー使用量(kl)/製品供給量(百万Sm3)

単位：排出量(t-CO_2)，原単位量（kg等），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度（平成26年度）			原単位削減目標	目標年度（平成27年度）		
	排出量 (a)	原単位数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出見込量 (e)	原単位見込数値 (f)	原単位見込 (g)
エネルギー起源CO2							
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位（原油換算ｋｌ）	－	－	65.58	1.0	－	－	64.92
目標設定の考え方	基準年度（前年度）比でエネルギー消費原単位を1%低減						

※　削減率(d)＝｛(c)－(g)｝/(c)×100　　原単位(c)＝(a)/(b)　　原単位見込(g)＝(e)/(f)

6　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○　温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項　　目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー消費原単位の低減	基準年度比1%削減	・プラント適正運転(随時：生産量に対しての消費電力の適正調整) ・大型圧縮機の吸込フィルター清掃または交換(年毎：圧損低減) ・送風機の駆動ベルト増張または交換(月毎：機械損の低減) ・冷却水ポンプ、冷却塔ファンの余剰運転停止(冬季随時) ・自社生産液化窒素の有効活用によるエネルギー原単位の改善 ・事務室、不要照明、冷暖房、事務機器の適正管理および不要時停止
2			
3			

※　原単位で作成する場合は，数値目標欄の記載例中，「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○　温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種　　類	合計量
1		
2		
3		

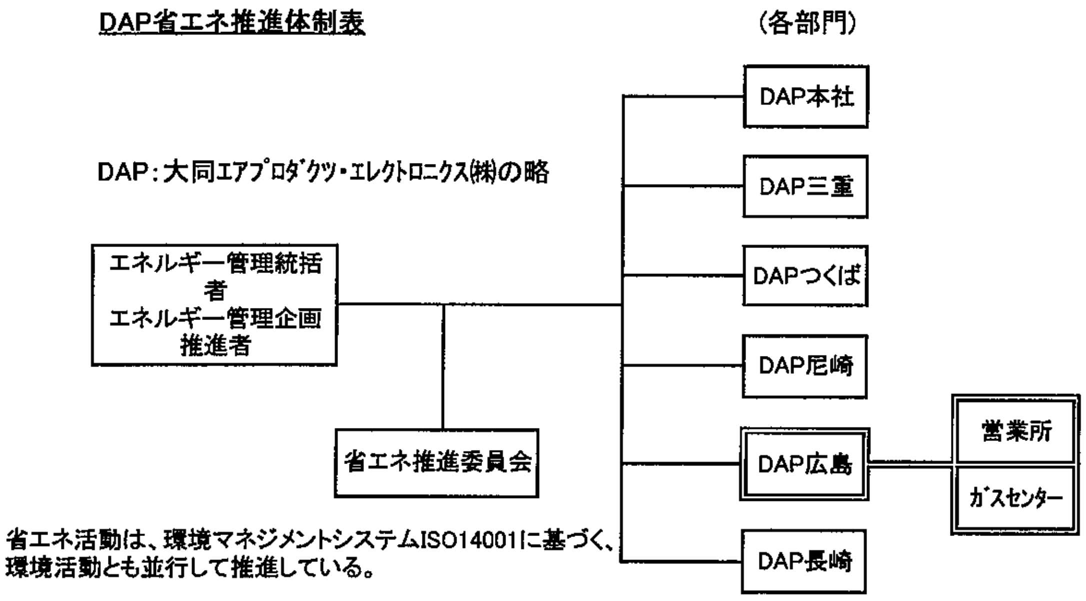
○　その他の取組み

	項　　目	数値目標	具体的な取組み
1	環境マネジメントシステム	－	・原単位低減を目的としたプラント保守作業および管理 ・省エネ法等にかかわる対応
2	ガスセンター清掃活動	2ヶ月毎の実施	－

※　環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7　温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

（１）推進・点検体制



（２）実施状況の点検・評価

大同エアプロダクツ・エレクトロニクス㈱ではDAP本社および各部門と協力して、エネルギー消費原単位の低減を含めた環境活動のために、目標・問題点の検討と把握を行ない、省エネ推進委員会及び環境委員会において定期的に点検・評価・見直しなどを行い継続的な向上をはかる。

（３）計画書等の公表

・事業所に備え付けて閲覧する。
・当社省エネ委員会にて公表する。